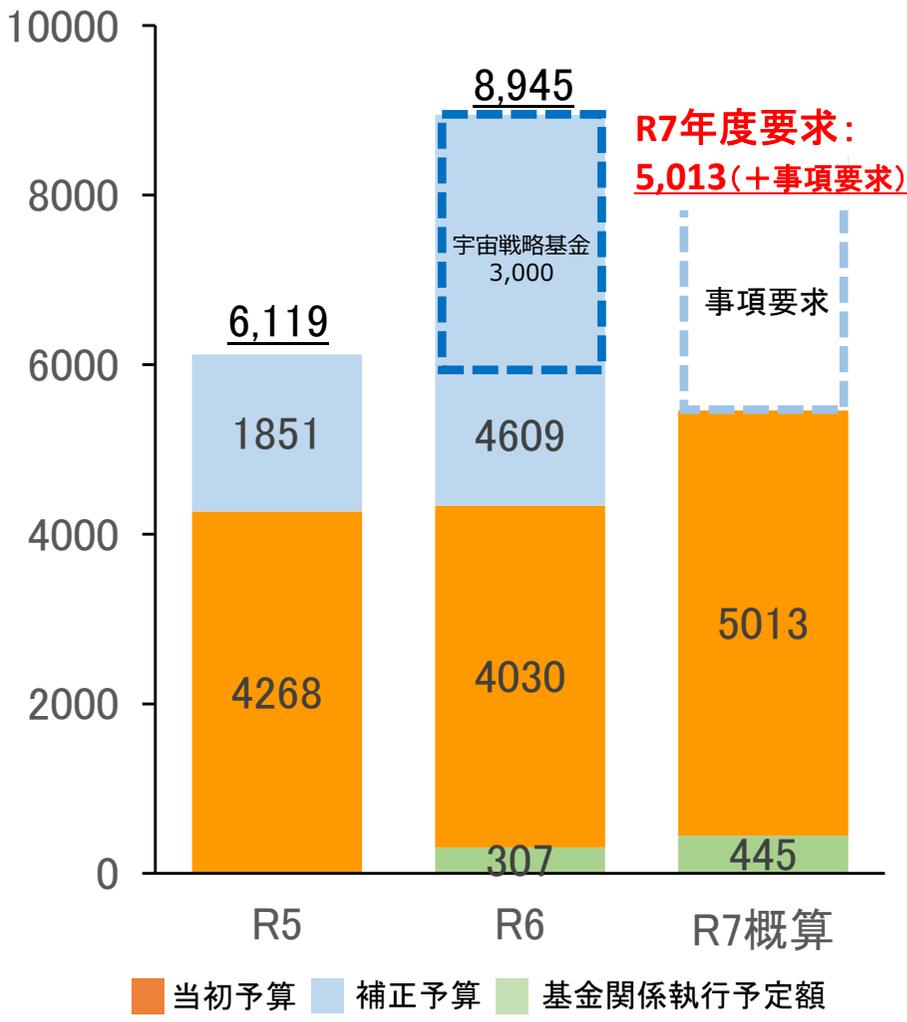


令和7年度予算概算要求における宇宙関係予算

令和7年度予算概算要求 5,013億円 (+事項要求)
 (令和6年度当初予算 4,030億円)
 (令和6年度当初予算等+令和5年度補正予算 8,945億円)

(単位:億円)



府省名	前年度計	R5補正	R6当初	R6基金関係 執行予定額	R7要求	
						対前年当初
1. 内閣官房	897	275	622	-	742	+ 19%
2. 内閣府	370	171	200	-	306	+ 53%
3. 警察庁	9	0	9	-	9	- 2%
4. 総務省	398	290	108	-	101	- 7%
5. 外務省	3	0	3	-	3	+ 3%
6. 文部科学省	3,734	2,104	1,519	111	2,014	+ 33%
7. 農林水産省	89	37	52	-	80	+ 53%
8. 経済産業省	1,642	1,260	186	196	95	- 49%
9. 国土交通省	653	462	191	-	236	+ 23%
10. 環境省	72	10	62	-	55	- 11%
11. 防衛省	1,077	0	1,077	-	1,372	+ 27%
合計	8,945	4,609	4,030	307	5,013	+ 24%

※四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。
 ※「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム(Kプロ)及びSBIRフェーズ3基金のうち宇宙関係のテーマを集計している。

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計： 5,013 億円（+事項要求）

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】	<u>742 億円</u>	【農林水産省】	<u>80 億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用	742 億円	● スマート農業技術の推進	36 億円
【内閣府】	<u>306 億円</u> (+事項要求)	【経済産業省】	<u>95 億円</u>
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	208 億円 (+事項要求)	● 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業	7 億円
● 宇宙開発利用推進費	73 億円	※この他、令和7年度執行予定額としてKプロ（197億円）及びSBIRフェーズ3基金（92億円）	合計 289 億円
● 中央防災無線網の運用等	3 億円		
【警察庁】	<u>9 億円</u>	【国土交通省】	<u>235 億円</u> (+事項要求)
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	9 億円	● 無操縦者航空機の運用等	156 億円
【総務省】	<u>101 億円</u>	● 人工衛星の測量分野への利活用	28 億円
● 宇宙通信システム技術に関する研究開発	315 億円の内数	(+事項要求)	
(10Gbps級の光通信技術)		(自動運転の実現に資する地殻変動補正情報の高度化など)	
● 次期静止気象衛星に搭載する宇宙環境計測装置の開発	4 億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	25 億円
【外務省】	<u>3 億円</u>	● 次期静止気象衛星の整備等	事項要求
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3 億円	【環境省】	<u>55 億円</u>
【文部科学省】	<u>2,014 億円</u> (+事項要求)	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	40 億円
● 基幹ロケットの開発・高度化	145 億円	【防衛省】 ※令和7年度歳出予定額を記載	<u>1,372 億円</u>
● 基幹ロケットの打上げ高頻度化	19 億円	● 衛星コンステレーションの構築	-
● 将来宇宙輸送システムに向けた研究開発	29 億円	● 次期防衛通信衛星等の整備	-
● 官民連携光学ミッションの開発	14 億円	● 次世代防衛技術実証衛星の開発	-
● 温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）	11 億円	● 画像解析用データの取得	255 億円
● アルテミス計画に向けた研究開発等	370 億円 (+事項要求)		
うち有人と圧ローバ開発	24 億円 (+事項要求)		
うち新型国際宇宙ステーション補給機（HTV-X）	240 億円		
● 高感度太陽紫外線分光観測衛星（SOLAR-C）	36 億円		
※この他、令和7年度執行予定額としてKプロ（49億円）及びSBIRフェーズ3基金（107億円）	合計 156 億円	※ この他、内閣府、総務省、文科省、経産省の4府省で、宇宙戦略基金の拡充に向けた要求	合計 55 億円

宇宙開発戦略推進事務局の令和7年度概算要求

1. 実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用

208.2億円 (+ 事項要求)

(※R6当初167.1億円+R5補正予算73.1億円 計240.1億円)

- 持続測位が可能となる7機体制の令和7年度中の確立に向けた開発・整備
- バックアップ機能の強化や利用可能領域の拡大のために、令和7年度より11機体制に向けた開発に本格的に着手



準天頂衛星「みちびき」

2. 宇宙開発利用推進費

73.0億円 (※R6当初23.0億円+R5補正96.9億円 計119.9億円)

- 衛星・月面関連技術など、各省が連携して戦略的に取り組むべき技術開発を着実に推進

3. 宇宙戦略基金の拡充 (総務省・文科省・経産省と連携)

10.0億円

- 速やかに総額1兆円規模の支援を行うことを目指すとともに、非宇宙のプレーヤの参入促進や、新たな産業・ビジネスの創出、事業化へのコミットの拡大等の観点からスタートアップを含む民間企業や大学等の技術開発への支援を強化・加速

4. その他 (調査、事務費等)

10.3億円 (※R6当初9.2億円)

合計 301.5億円 (+事項要求)

(※R6当初199.3億円+R5補正予算170.0億円 計369.2億円)